

【5月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳1カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳0カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (0歳11カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (0歳10カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. オムツ交換や着替えの際、保育者の肩につかまりながら声かけに合わせて足を上げ、着脱に参加していた。 2. つかまり立ちや伝い歩きを盛んに楽しむ中で、保育者に「おいで」と声をかけられると、手を離して一人立ちしたり、一步を踏み出そうとする動きが見られた。 3. 保育者のひざに座って絵本を読んでもらう中で、絵本を見つめながら声を出したり、自分でページをめくろうと手を出す姿が見られた。	1. 生活リズムが徐々に整い、15分程度の午前睡を取ることで、給食まで元気に過ごすことができた。 2. 室内や園庭で、バランスを崩しながらも歩行を楽しみ、保育者に「おいで」と声をかけられると喜んで向かっていた。 3. 登園時に泣く姿が減り、自分から室内に入ろうとする姿が見られるようになった。		
ねらい	1. 着脱に興味を持ち、自分なりにやってみようとする 2. 様々な体の動きを楽しむ	1. 安定した生活リズムで過ごす 2. 歩行を楽しむ		
内容	1. 保育者に手伝ってもらったり、声かけに合わせて体を動かしながら、ズボンや靴下の着脱を行う。 2. 室内の広いスペースで、低い段差やマットの山をハイハイでのぼりおろしたり、手押し車や大箱を押して歩く。	1. 信頼する保育者に見守られながら午前睡を取り、午前の活動に元気に参加したり、機嫌よく食事をする。 2. 戸外で、保育者に見守られながら安心して歩行を楽しみ、興味のあるものを見つけて関わろうとする。		
環境構成 配慮 援助	1. 床や腰掛けに座り、安定した姿勢で着脱に参加できるよう配慮し、「ズボンを脱ごうね」「靴下を脱ごうね」と優しく声をかけながら丁寧に誘い、意欲を育む。保育者が途中で脱がせ、「ここを引っ張ってみよう」と促し、自分で脱ぐことができたときは「脱げたね」と声をかけ、一緒に喜びながら達成感を味わえるようにする。 2. 自由に動ける広いスペースで、保育者が体を動かして見せながら遊びに誘い、安全に配慮しながら、本児自らの動きを尊重して見守る。低い段差やマットの山では「のぼれたね」「おろされるかな？」と声をかけ、手押し車や大箱を押して歩く際には、「歩くの楽しいね」「力持ちだね」と声をかけながら、楽しさに寄り添う。	1. 本児が生活に見通しを持ちながら安心して過ごせるよう、特定の保育者が無理なく午前睡を援助する。一定時間眠ったあとは、心地よく目覚められるよう、「おはよう、よく寝たね」「すっきりしたね」と優しく声をかけて体を起こし、オムツ交換や水分補給をしながら、焦らずに次の活動に誘う。 2. 他児の動きや段差、石などの周囲の安全に配慮するとともに、本児の体の動きを観察しながら、歩行を見守る。本児が何かを発見したり関わろうとする姿を見逃さず、目が合ったときには「何を見つけたの？」と声をかけ、応答的に関わりながら、興味に寄り添う。		
食事	(完了食) ・苦手なものは口から出してしまうため、気持ちを受け止めながら、保育者がおいしそうに食べて見せることで興味を引き、「食べてみようかな」という気持ちが育つよう、焦らず関わる。 ・機嫌よく食べる中でスプーンを持ちたがるときは、手を添えて援助しながら使い方を知らせ、徐々に慣れていけるようにする。	(完了食) ・おかずを手づかみ食べする姿を大切に、口周りが汚れたときは、「お顔をきれいにしようね」と伝えてから優しく拭き、気持ちよく食べられるようにする。 ・スプーンへの興味を受け止め、「一緒に使ってみようね」と優しく伝え、手を添えながら持ち方を知らせ、食べやすいように介助する。		
家庭との連携	3. 気に入っている絵本やクラスでよく読む絵本を、本児が楽しむ姿とともに紹介し、家庭でも絵本に触れる機会につながるようにする。 ・歩行に向けて、一人立ちやしゃがんだり立ったりする動きを十分に経験することの大切さを保護者に伝え、焦らずに本児の発達を見守る。	3. 園生活に慣れ、安心して過ごす本児の姿を保護者と共有し、成長とともに喜びながら、信頼関係を深めていく。 ・本児の着脱への意欲を育めるよう、着脱しやすい素材の衣服や肌着への移行を保護者に促す。		
評価・反省	1. ズボンや靴下を引っ張って脱ぐことを楽しんでいた。自分でできた部分を大いにほめながら、意欲を育む。 2. 手押し車や大箱を押して歩くことが気に入り、くり返し楽しむ中で、方向転換もできるようになった。手を離して数歩出るようになったため、安全に歩行を楽しめる環境を整えながら見守る。	1. 特定の保育者の安定した関わりにより、自ら布団に横になり、すぐに入眠できるようになった。周囲の物音を気にする様子は減ったが、眠り過ぎることもあるため、本児の体調に合わせて生活リズムを整える。 2. 歩行が安定し、砂利や芝生の上でもバランスを取りながら歩いていた。園庭では探索を楽しんでいたが、公園では出口など危険な方向へ向かう姿勢が多く見られたため、目を離さず見守り、自然物や玩具に興味を持てるように関わる。		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。
敬称と性別表記:ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。